

【学校教育目標】  
 ふるさとを愛し 心豊かで  
 自らやりぬく生徒の育成

# 潮風



No.4  
 令和2年  
 9月17日(木)  
 香美町立  
 香住第一中学校



## 体育祭盛り上がりました



今年度の体育祭も無事終了しました。(今のところはですが…)しかし悩みの多い学校行事です。行事を開催した場合のウイルスの感染拡大防止策ですが、保護者・来賓の皆さんを招待するか否かで大変悩みます。

わが子はもちろん、わが子でなくても、保護者や町民の皆さんが、中学生たちが若さを爆発させて元気よく活動する姿を見ることで、笑顔になったり元気になったりしていただく。中学校(生)が香住の町にどう貢献している

ののだろうかと考えたとき、一番大きな貢献は、学校行事を外に開いて香住の皆さんに見ていただくこと。このことが最大の貢献なのだろうと考えています。

今回、子どもたちの成長を目の当たりにして、喜んでいただくと同時に元気になっていただくという大きな役割が果たせないことには、申し訳なく思うと同時に、ウイルスの影響は計り知れないものだと認識を新たにしました。

しかし、生徒たちは少ない練習時間の中でも精一杯に取り組み、自分たちだけでも互いに応援しあい、助け合って、素晴らしい体育祭を創りました。楽しむとは何か、どうすれば楽しむことができるのかが、学校生活の中で少しずつ身につけてきていることを実感しました。

行事には披露の目的も当然ある訳ですが、まずは自分たちが一生懸命取り組んで充実感や達成感を味わうこと。そして、その努力をお互いたたえ合うこと。そのことが一番大切にされなければなりません。観客の目を意識するあまり、淫刺とした若さや躍動する美しさを失っては、本末が転倒してしまいます。当然のことながら、一生懸命取り組んだ演技は、披露に耐え得る力を持っているはずだと確信しています。



次年度へつながる体育祭にしてくれた3年生に感謝します。



## 行事予定

日	曜	行事等	給食	日	曜	行事等	給食
1	木	修学旅行② 完全下校17:45	1203年X	17	土	新人戦(バスケット、バレー)	
2	金	修学旅行③ 部活停止(~7日)	1203年X	18	日	新人戦(バスケット)	
3	土	新人戦(野球、テニス、卓球)		19	月	トライやるウィーク①	13年02年X
4	日	新人戦(野球) 浜坂高校OHS		20	火	トライやるウィーク②	13年02年X
5	月	後期学級役員選挙 三番叟奉納	○	21	水	トライやるウィーク③ ノー部活デー 定時退勤日	13年02年X
6	火		○	22	木		○
7	水	中間テスト① 柴山祭礼 ノー部活デー 定時退勤日	×	23	金	避難訓練 完全下校17:10	○
8	木	中間テスト② 生徒会部会	○	24	土		
9	金	トライやる保護者説明会	○	25	日		
10	土	新人戦(野球、テニス) 豊岡・豊岡総合高校OHS		26	月	香住JC講演会(2年)	○
11	日	新人戦(野球) 英検1次		27	火	諸会費納入日 JR運休	○
12	月		○	28	水	道徳研究発表会 ノー部活デー 定時退勤日 JR運休	○
13	火	進路説明会(午後)	○	29	木	JR運休	○
14	水	貯金日 ノー部活デー 定時退勤日	○	30	金		○
15	木		○	31	土	近大附豊岡高OHS	
16	金		○				



## これからの学校生活

2学期もはやひと月が経とうとしています。体育祭も終わり、校内はすでに2学期中盤まで差し掛かったような雰囲気です。生徒たちも元気よく頑張っています。

さて、これからの学校生活について始業式で話したことを少しお伝えしたいと思います。

学校が六月に再開してから、新たな生活様式として、次の三つを極力守って生活しようと、生徒の皆さんに心がけてもらっています。

一つ目は「密閉・密集・密接」の三密の回避。二つ目に、「マスクの着用」。そして三つ目は、「手洗いと手指消毒の励行」です。これを守れば安全というようなことはありませんが、感染予防や感染拡大に大きな効果があることは、間違いありません。今後、このことが自分の生活の中に根付いて、「新しい生活様式」が「普通の生活様式」になるよう、2学期も取組を続けてください。

さて、そうしたコロナウイルス感染の危機にさらされている中、一学期の終わりには、「但馬内にも感染者確認」の情報が入ってきました。目に見えないウイルスですから、どこでどのように感染するかわかりません。皆さんをいたづらに怖がらせるつもりはありませんが、誰が感染しても不思議ではないのが、このウイルスのようです。どうか感染しないように気をつけてください。

よく、若年者は無症状か軽症程度で収まると言われていますが、皆さんは、様々な人の中で生活しています。自宅や近所には、基礎疾患を持った方もいらっしゃるでしょうし、高齢者もいらっしゃると思います。「感染していても無症状だった自分が、実は家族やおじいちゃん・おばあちゃんにうつしていた」となったら大変なことです。どうぞ、今言った「新しい生活」をきちんと守っていくよう心がけてください。

もう一つは、予防では防ぎきれなかった場合です。実際に「香美町」に、または、「一中」に感染者が出た場合のことです。今、ここにいる人たちは、先生方も私も含めて、「自分は感染していない」と思っているでしょう。感染していないことを願ってはいますが、無症状の場合もあるので何とも言えません。全国的には感染者が毎日報告されています。「できるだけ予防策をとっていても、防ぎきれない」と言うのが実際のようなのです。と言うことは、香美町にだって、一中にだってこのことは当てはまるということです。

「感染者が出た」とわかった段階で、当然「誰?」「経路は?」「自分は大丈夫だろうか?」「家族は?」となるでしょう。目に見えないものですから、余計に不安になるのは当たり前です。それは自然な感情だと思います。そして次に来る感情が、不安からの感染者へのバッシング(=非難)です。それも、少なからず皆が持つ感情だろうと思います。感情ですから止めることはできませんが、だからこそ、一中生の皆さんには、是非とも冷静になってほしいのです。

できるだけ予防策をとっていても、防ぎきれないのがこのウイルスの特性なら、「かかったあの人が悪い」とか、「あの人がうつしたんだ」という非難や差別ではなく、たとえ本人は無症状でも、「辛い思いをしているだろうな」とか「できることがあればしてあげよう」というような、相手を思いやる、同じ一中の仲間としてのつながりを大切にしてほしいのです。

私は、こういう時こそ、「一中生としての底力」が試されるのだと思っています。お盆の期間にも、たくさんの感染者数がメディアで報告されていました。当然、兵庫県も同様でした。早く治療薬が開発されればいいなと思います。

しかし、それまでに私たちができることをしなければ、それはウイルスの思うつぼなのかも知れません。感染防止のために、できる予防策をとること。感染がわかったときに、とるべき対処法と周囲の人の理解と協力。このことは、ウイルスがどこにしようが、今、私たちができることですし、しなければならぬ、鍛えなければならぬ心の持ちようだと思います。

来年度になれば、効果的な薬が開発されるだろうと言われています。このような大変な年に、たまたま同窓生となった二百二十八名の皆さん。「コロナだから何もできなかった」ではなく「コロナだけど、いつもとは違うことをたくさんしたし、心も鍛えた。しかも、仲間と一緒に」と言えるよう、どうか頑張って一緒に乗り切りましょう。

最後に、但馬管内でも、コロナウイルスと最前線で闘っておられる医療従事者の皆さんには、心から敬意を表します。皆さんのご家族にも医療関係に従事していらっしゃる方がいると思います。家族・関係者として立派だと思いますし、どうぞ協力してあげてください。

《長い話ですみませんでした》

## 道徳授業研究取り組んでいます

今年度、柴山小学校と連携しながら、県より道徳の研究指定を受けて授業研究に取り組んでいます。学年ごとに授業を公開して、教員同士で参観し合って意見交換し研究を進めています。授業力の向上は、生徒たちの理解力の向上や道徳的実践力の育成に直結していますから喫緊の課題です。教材の分析から授業の構成まで、ノ一部活デーの放課後を使って喧々囂々議論が進みます。

お子さんの道徳の教科書や兵庫県の道徳副読本等、ぜひご一読いただきますようご案内いたします。「いい話」がたくさんありますよ。

